

5. その後の管理

- 自治会で決めたルールに基づき、目標に向けて餌やりやトイレの管理などを行います
- 長期にわたる活動になるため、随時、役割分担やローテーションなどのルールの見直しをしながら活動を継続することが重要です

解説



- ▶ 地域猫活動を知った人がその地域に猫を捨てていくことがあるので、捨て猫の防止を徹底します
- ▶ 回覧板や地域の掲示板を利用するなどして、活動状況を周辺住民に周知します
- ▶ 地域猫を飼い猫として飼養する飼い主の方を探すことも重要です

■ **動物ボランティアとの協力** 地域猫活動を自治会のみで実施するのは難しいこともありますので、経験のある動物ボランティアに協力をお願いしながら、活動を実施していく方法もあります

連絡先

機関名	所在地	電話番号
動物愛護センター	美濃市片知593	0575-34-0050
岐阜保健所	各務原市那加不動丘1-1	058-380-3001
本巣・山県センター	岐阜市藪田南5-14-53	058-213-7269
西濃保健所	大垣市江崎町422-3	0584-73-1111
揖斐センター	揖斐郡揖斐川町上南方1-1	0585-23-1111
関保健所	美濃市生籾1612-2	0575-33-4011
郡上センター	郡上市八幡町初音1727-2	0575-67-1111
中濃保健所	美濃加茂市古井町下古井大脇2610-1	0574-25-3111
東濃保健所	多治見市上野町5-68-1	0572-23-1111
恵那保健所	恵那市長島町正家後田1067-71	0573-26-1111
飛騨保健所	高山市上岡本町7-468	0577-33-1111
下呂センター	下呂市萩原町羽根2605-1	0576-52-3111
生活衛生課	岐阜市藪田南2-1-1	058-272-1986

猫の飼い主の方へ

飼い主を明示しましょう

飼い猫に首輪、名札などをつけ、飼い主を明らかにしてください
飼い猫が帰ってこなかった時などに発見が容易になります

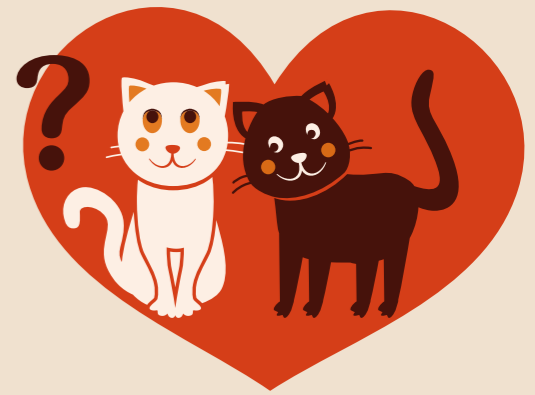
室内で飼いましょう

交通事故や感染症など屋外での危険から守るために、室内飼養をしましょう
猫は快適な環境を整え、飼い主が良いコミュニケーションをとることで室内でも幸せに暮らせます

不妊去勢手術による繁殖制限をしましょう

手術をすることで病気の予防やストレスの軽減、スプレー行動(オスの場合)の予防になります

知っていますか? 地域猫活動



飼い主のいない猫(野良猫)に困っている...

- 家の軒下で子猫が生まれている
- ゴミや畑が荒らされる
- 糞や尿をされて困る
- 鳴き声がうるさい など
- お腹を空かした猫や子猫を助けたい
- 増やさないように不妊去勢手術をしたいけど自分一人ではできない など

解決するために、地域猫活動をしてみませんか?



1. 飼い主のいない猫の不妊去勢手術を行う

効果 新たに子猫が生まれなくなるので、猫の数が減ります
発情による猫同士のケンカや、鳴き声が少なくなります



2. 猫用トイレを設置し、糞尿の始末と管理をする

効果 トイレの場所を定めることで、庭などに糞尿をすることが少なくなります



3. 給餌場所を決め、清掃・管理をする

効果 お腹をすかせて、ゴミなどをあさることが少なくなります

地域で協力し、**1~3**などの活動を継続して実施していき、
困っていることの解決を目指す方法を「**地域猫活動**」といいます

なぜ飼い主のいない猫が増える?

もともと飼われていた猫が、捨てられたり迷ったりして、野外生活を送るようになったのが飼い主のいない猫です
猫が繁殖したり、無責任な餌やり行為をした結果、地域では猫が増加していきます
また、不妊去勢手術をしていない飼い猫が外を自由に歩いていることも、猫が増える原因の一つになっています

地域猫活動の進め方

モデルケース：猫による被害で困っている自治会

1. 情報収集

- 猫による被害は？(糞尿、鳴き声、子猫が増えるなど)
- 飼い主のいない猫に餌を与えている人はいるのか？
- 猫の数は？その性別は？
- 飼い猫か飼い主がいない猫かの判別は可能か？(首輪、名札など)



解説

上記の情報がわかると問題点が把握でき対策(目標)が立てやすくなります

問題

糞尿に困っている
鳴き声、子猫
餌やり
不妊去勢手術をしていない飼い猫が外を自由に歩いている

対策

- ▶ 猫用トイレの設置と管理
- ▶ 不妊去勢手術
- ▶ 給餌場所を決め、清掃と管理
- ▶ 不妊去勢手術の推奨
- ▶ 室内飼養の推奨



2. 地域猫活動を行うか自治会主体で決定(会議の開催)

- 猫による被害で困っている人や猫の管理に反対な人も参加した話し合いで自治会として地域猫活動を行うかどうか決めます
- 実施が決まったら、回覧、掲示板などを利用し、自治会内での活動への理解を深めます

解説

- ▶ 会議には必要に応じて行政担当者も出席して行います(地域猫活動の解説など)
- ▶ 合意形成後は会議の席で活動有志を募ることもできます
- ▶ 活動の継続には複数名の協力者が必要です



3. 活動のルール作り

- 役割分担やローテーションを決め、自治会の実情に応じた継続可能な無理のないルールを作ります
- ① 目標(目的)を決める
- ② トイレの設置(場所、清掃、担当など)
- ③ 餌やり(場所、時間、担当など)



解説

- ① 目標(目的)を決める
 - ▶ それぞれの地域において飼い主のいない猫によって困っている内容は異なりますので、情報収集や会議の中で判明した問題点を解決することを目標にします
 - ▶ 飼い主のいない猫の寿命は4~5年といわれていますので、実際に数が減っていくには複数年の時間が必要です
 - ▶ 活動を始めた当面はこれ以上猫を増やさない、餌やりや糞尿による迷惑防止が目標となることもあります
- ② トイレの設置(場所、清掃、担当など)
- ▶ 餌やりの場所の近くにトイレを設置することで糞の被害をかなり減らすことができますといわれています
- ▶ 餌やりの場所やトイレの周りを片付ける際に、ゴミ拾いなどの環境美化もできると良いです
- ③ 餌やり(場所、時間、担当など)
- ▶ 毎日同じ時間に同じ場所で、地域で管理すると決めた猫のみに餌やりを行います
- ▶ 置き餌(餌を置きっぱなしにする)をしないことが重要です(食べ残しもすぐ片づける)
- ▶ 置き餌は季節によっては腐敗するなど環境の悪化を招いたり、カラスやネズミなどの餌となったり、他地域の猫を呼び込んでしまうこともあります



4. 不妊去勢手術

- 飼い主のいない猫を保護し、不妊去勢手術をし、元の場所に戻します

解説

- ▶ 地域猫活動に不妊去勢手術は不可欠です
- ▶ 不妊去勢手術をせず、外を自由に歩いている飼い猫は飼い主のいない猫が増える原因となりえますので、飼い主の方の協力も重要です
- ▶ 地域のすべての飼い主のいない猫に手術を行えばだんだんと数が減っていくこととなります

岐阜県(岐阜市を除く)では

地域猫活動を行う自治会で飼い主のいない猫であることを確認した猫のみ、動物愛護センターにおいて無料で不妊去勢手術を行います
猫の保護、動物愛護センターへの搬入、元の場所に猫を戻すのは、原則自治会で行います
不妊去勢手術後の猫は、手術を実施したことを識別するため耳をV字カットします

